



関東地区 KKGK 協力会 NEWS

2021.2 NO.136



巻頭
言

「交わりの中で生きる」

協力会運営委員 小町 継太

信州大学'96卒・日本長老教会ゆりのきキリスト教会長老

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって、1年が経とうとしています。様々な場所で困難の中いらっしゃる皆様には、心からお見舞い申し上げます。学校教育の中で、コロナ禍の影響を最も受けているのは大学でしょう。地域によって濃淡があるかもしれませんが、高校以下の学校の多くは制約を設けつつも通常に近い学校生活を再開させる中、多くの大学では通常の授業が再開できず、ZOOMなどのオンライン会議ツールを活用しての遠隔授業が続けられています。

当初、オンラインで本当に大丈夫なのかと懸念されてもいましたが、遠隔授業には様々な利点もあり、全世界的にもノウハウが蓄積され、多くの学生がオンラインでの教育により単位を取得しています。しかし、オンライン授業が延々と続く中、学生が「ZOOM疲れ」を覚えたり、登校できず友達もできない学校生活で、メンタルの不調を訴えたり、学業継続の意欲を失うことも起こっています。オンライン授業により単位を取得できれば、大学の卒業要件は満たすことはできるのかもしれませんが、やはり大学教育はそれだけではない、学生同士が、あるいは教員と学生とが、同じキャンパスでともに学び、

切磋琢磨し友情を育む、そういうことが必要であると言えると思います。

私たちが聖書を読む時も、同じようなことが言えるのではないのでしょうか。21世紀の日本とは時代も場所も環境も異なる聖書のメッセージを、私たちはいわば「遠隔」で受け取っています。「遠隔」だけでも聖書の英知に触れることはできるでしょう。しかし、信仰者である私たちは、聖霊の働き、聖霊との交わりにより聖書を読むとき、私たちに信仰の確信が与えられ、救いに導かれることを知っています。そして、教会生活における交わりにより、信仰が育まれることも知っています。私たちはそのような、人格的な交わりの中で生き、学び、信仰を育む、そういうことの必要性をつくづくと考えさせられた2020年でした。

制約の多い環境の中で、最善を尽くし教育環境を整えている学校関係者の皆様に敬意を表します。そのような中でも懸命に学びに励んでいる学生の皆様に、神様の助けがありますようお願いいたします。そして、妨げられることなく交わりを持てる社会に戻る日が、できるだけ早く訪れますよう、心より願っています。

信州ブロックに 遣わされて

戸澤 元宏

信州大学 2年
日本福音キリスト教会連合 佐倉福音キリスト教会



私が K GK 信州ブロックに加わってから、早くも2年が経とうとしていますが、神様が見せてくださる様々な出来事によって、日々、新鮮な想いで活動しています。現在、信州ブロックは4～7名ほどで活動しています。コロナウイルスの影響で、対面での集会が難しくなってからは、オンラインツールを用いて聖書研究と祈りの時間を持っています。対面での集会を持たない事のもどかしさは感じつつも、南北に長い長野県において、オンライン集会は、活動の幅を広げてくれました。これまで、年に数回しか参加できなかった、遠方の学生が、頻繁に集会に参加できるようになり、集会そのものの回数も去年より増えました。また、新しいメンバーも与えられました。さらにオンラインがゆえに、関東地区として、首都圏の学生と交わる機会も多くありました。

ただ、集会で何か特別なことをしている訳ではありません。御言葉に聞き、教えられ、祈り合います。近況を報告し合い、嬉しい時には共に喜び、苦しい時には励まし合います。きっと、全国どこのブロックでも行っているような活動です。しかし、そのように集会を持てていること自体が、信州ブロックにとっては、何よりの喜びであり、励ましです。ある時、メンバーの一人が「最初に祈ってさ、聖書開くとさ、神様語ってくれるよね。」と言っていました。ある意味当然のことかもしれませんが、これこそ神

の臨在の証であると、私は想われました。神様はいつも変わらずに私たちに現れてくださいます。

信州ブロックは人の目にはいつ消滅し、忘れ去られてもおかしくないような、小さな交わりです。しかし、信州ブロックを覚えてくださる卒業生がいらっしゃり、学生を快く受け入れ、活動を共にしてくれる教会があります。また、そのような方々が捧げる祈りがあります。そして何より神様がこの群れを覚えてくださっています。

今年度の信州ブロックのテーマ聖句は「しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくなないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力付けてやりなさい。」(ルカの福音書 22:32・新改訳 2017) です。信州ブロックを守り、導いてくださっているのは神様です。私たち自身の頑張りや、熱意によるものではありません。そこに希望を抱き、今、与えられているメンバーたちと励まし合っていきたいのです。また、いまだ神様を知らない多くの学生のもとへと遣わされていきたいと願うのです。今年度の歩みも残りわずかではありますが、さらにこの御言葉から、主の御業を見させていただけれることを期待しています。

教会を建て上げるための、 卒業後を見据えた学生宣教

責任主事 塚本 良樹

日本ナザレン教団 青葉台教会



関東地区主事としての7年間（アメリカから帰国後は3年間）の働きを終え、4月からは全国卒業生会担当主事を務めることとなりました。関東地区卒業生会担当を兼任するため、関東地区での働きは続きますが、今後は全国のKGK運動に仕えることが私に託された使命となります。

KGKの卒業生ではない方にとっては、なぜ学生宣教団体に卒業生会があり、そこに担当主事を置いているのかと疑問に思われるかもしれません。超教派団体であるKGKの究極の使命は教会を建て上げることです。だからこそ、KGKは学生時代だけで終わる働きであってはなりません。いくら学生時代に多くの人が救われ、キリスト者として成長することができたとしても、学生時代よりも圧倒的に長い卒業後の「全生涯」において、キリスト者としての生き方が貫かれなければ、真に教会を建て上げる団体ではないのです。

卒業生は、学生時代よりも圧倒的に長い卒業後の歩みにおいて、試練を経験します。多くの場合、キリスト者の交わりの機会が激減します。さらに、職場・家庭において責任が上がっていくなかで、挫折を経験するなかで、遣わされた地で福音に生き抜くことがどれほど難しいかということを思い知らされます。KGKは、学生が、御言葉を中心とした人格的交わりのなかで（福音主義）、全生活・全生涯で主体的・責任的に生きること（学生主体）、教会を建て上げること（超教派）を問われ続けるなかで、生涯の「土台」を形成する交わりです。そして卒業後

も、会うことのできる頻度は低くなったとしても、あるいは物理的に会えなくとも紙面やオンラインを通して、それでもKGKスピリットに生きることを励まし合い続ける交わりとして卒業生会を形成しています。

全国卒業生会担当主事の使命は、各地区卒業生会の働きが深まっていくように、全国規模の企画を実施したり、各地区を訪問したりして卒業生リーダーたちを支えることです。さらに、全国各地の卒業生たちのストーリーを聴き、それを主事たちを通して学生たちに伝え、卒業後を見据えた働きができるように助けることです。

私自身、特に重荷をもっているのは、若手卒業生たちのことです。卒業直後、多くの卒業生たちは、職場における責任の重さや忙しさ、人間関係の困難のなかで、あるいはこの世の価値観、特に恋愛・結婚において、そしてそのなかで教会に仕えることにおいて、葛藤を経験します。KGKでは卒業前から、聖書から労働観・結婚観・教会観について学ぶことを大切にしていますが、卒業後数年かけて、もう一度それらの学び直し、使命としてのKGKスピリットを思い起こすことのできる交わりを全国規模でもちたいと願っています。

全国卒業生会担当主事として、KGK運動が、真に教会を建て上げる全生活・全生涯に及ぶ働きとなっていくことができるように、励んでまいりたいと思います。引き続き、覚えてお祈りください。

2020 経過報告 ('20 年 1～9 月) 単位：円

取 入				支 出			
項 目	20 年度予算	20 年 1-9 月	達成率	項 目	20 年度予算	20 年 1-9 月	達成率
教会献金	16,000,000	9,796,694	61%	全国分担金	15,277,501	11,043,526	72%
卒業生献金	20,000,000	15,109,495	76%	人件費	22,132,431	15,512,371	70%
賛助献金	5,000,000	3,023,870	60%	法定福利費	1,523,398	1,212,387	65%
学生献金	1,100,000	563,458	51%	福利厚生費	1,791,307	1,213,807	66%
奉仕謝礼	1,100,000	752,017	68%	主事活動費	3,086,000	935,186	24%
その他の収入	600,000	35,019	6%	通信費	1,511,200	803,093	53%
				会議費	340,000	4,821	1%
				外注費	211,000	174,059	72%
				支払事務所費	607,668	356,254	59%
				消耗品費	100,000	47,304	47%
				水道光熱費	70,000	55,983	80%
				支払手数料	400,000	344,656	86%
				修繕費	54,200	3,300	6%
				備品	10,000	0	0%
合計	43,800,000	29,280,553	67%	合計	43,800,000	29,280,553	67%

●献金：インマヌエル高津キリスト、おざく台キリスト、かもい聖書、キリスト教たんぽぽ、キリスト教朝顔、シアターチャーチ、シオンの群、シオンの群森の上キリスト、シオンの群中野キリスト、ジャバニースゴスベルチャーチ、シャローム福音、たまプラーザ・キリスト、つつじヶ丘キリスト、ぶどうの樹キリスト、みなみ野キリスト、みよし福音キリスト、めぐみの丘チャペル、めぐみ、ヨハン東京キリスト、衣笠中央キリスト、井土ヶ谷キリスト、宇都宮聖書バプテスト、浦和福音自由、浦和別所、栄聖書、KPCA 横浜キリスト、横浜キリスト福音、横浜シオン・キリスト、横浜永谷キリスト、横浜金沢文庫キリスト、横浜山手キリスト、横浜白山道、横浜緑園キリスト、荻窪栄光、桶川福音自由、蒲田シオン、茅ヶ崎シオン・キリスト、久遠基督、久我山キリスト、久喜福音自由、久留米キリスト、釧路キリスト福音館、軽井沢キリスト、御影神愛キリスト、御徒町キリスト、更生、甲府キリスト福音、行田カペナント、国分寺バプテスト、鷺沼キリスト福音、桜ヶ丘キリスト、札幌キリスト宣教会美しが丘グリーンチャペル、姉ヶ崎キリスト、篠原、主都福音キリスト、取手キリスト、十日市場めぐみキリスト、渋谷、春日部福音自由庄和会堂、所沢聖書、勝田聖書、小竹向原キリスト、小田原荻窪キリスト、松見ヶ丘キリスト、沼津港町、湘南のぞみキリスト、上作延キリスト、上大岡聖書、上田福音自由、新松戸福音自由、秦野詩音キリスト、菅キリスト、菅生キリスト、世田谷中央、清瀬福音自由、生田丘の上キリスト、生望バプテスト、聖インターハートチャペル、聖蹟めぐみキリスト、西国分寺、西船橋キリスト、西堀キリスト福音、青梅キリスト、青葉台、千歳鳥山光の子聖書、宣教、川越聖書、川越福音自由、川口中央福音自由、川鶴チャペル、前橋キリスト、相原キリスト集會、草加、草加福音自由、多摩ニュータウンキリスト、多磨、大磯キリスト、大間々キリスト、大野キリスト、谷村、池の上キリスト、筑波キリスト、中山キリスト、中野島キリスト、長津田キリスト、鶴ヶ島聖書、都賀キリスト、東京フリーメソジスト小井井、東京若枝、東京聖書学院、東京聖書、東京武蔵野福音自由、東松山福音、東村山キリスト、東大宮福音自由、東大和刈穂キリスト、藤沢福音自由、那珂湊キリスト、二宮山西キリスト、杉並、馬橋キリスト、白岡福音キリスト、白根福音、鳩ヶ谷福音自由、百合ヶ丘バプテスト、浜田山キリスト、武蔵台キリスト福音、仏子キリスト、平塚福音キリスト、片柳福音

自由、保守バプテスト津田沼、豊田キリスト、麻溝台キリスト、麻布霞町、流山福音自由、練馬神の、藤福音自由、OMF the Chapel of Adoration (138 教会) シオン・キリスト教団、東京カペナント日曜学校

●賛助献金(敬称略) Andrew Bettencourt、Dan Stringer、Janna Louie、Lydia Lockhart、Martin Ho、Matthew Meyer、Michael Harbert、Patrick Kao、Robert Balfour、Robert James Balfour III、Sean McCarty、Wen William、ウィリアム・ベティート、エステル・ブイ、スピノンリチャード、ロザンヌ・ジョーンズ、瀧元高子、安藤賢香、伊藤正教・和子、稲葉滋、永澤良子、英勇・仁子、市川博康、奥津栄子、横川清子、下村聖美、会田比呂史、会田萌夢、亀田昌芳、吉田博・潤子、吉澤昭男・由美子、久保田清香、宮基久美、宮崎弘子、宮池朋子、郷陽子、桐生真由美、近藤美和、金正賢、窪倉透・直子、桑田奈奈、原雅幸・こすも、古川みとエリアア、戸塚雅昭・祝、光榮英生・ゆかり、荒井香織、荒木さおり、佐藤撰子、佐藤二三恵、佐野弘枝、左近豊、砂川はるか、細谷潔、三井末子、三上如子、山口愛、山口真里佳、山口雄介あゆみ、山根美子、山内真澄、山本浩太郎、山本真弓、市川秀樹、市来竜哉、紙野賢美、秋本隆二、小室真、小川ふかみ、小倉佳浩・直子、小倉直子、小奈毅彦、小林恵美子、小林詩音、小林清巳・純子、上野文、城倉由光、植村公美子、森田恵、深谷美歌子、真侍ダニエルウォング、水口聡・恵、榎森賢児、菅野智慧蔵・シゲ子、西山菜美子、石山真由美、川崎紀子、川上武敏、浅海啓一、相沢京子、大橋康子、大山晴美、大西邦嗣、大野君枝、中久木貴・明香、長岡淳三・幸枝、長尾真由美、長尾卓美、陳頌妍、塚本謙一郎・雅子、田口りえ、渡辺忠、島田真祈子、東悦子、湯浅和代、藤原理恵子、藤本満・圭子、勾坂太一、白石善彬、飛田成史・紀代美、樋口史恵、浜田良夫、伏見美恵子、福澤正章、米森里美、米田麻子、片桐延子、峰岸大介、朴清民・真理恵、堀野路都、本多慶子、万年周子、名越恭子、木村光信・ゆかり、木村裕之、木村理恵子、木田みのり、木内雅仁、野口依子、矢口風香、矢代号・由有、齋藤由美、高橋正義・和子、フカセコウタ、ミカミタカヒロ・ナオコ、日本福音自由教会神奈川教区伝道委員会、東京 NCF、東京キリスト教学園、奥多摩青年修養会、株式会社ノア、EMF、JCFN、匿名 4 人 (166 名※夫婦は 2 名として数えています。)

KGK SINCE 1947 KANTO

主事会 News

FEB. MAR. APR. 2020

それでも、新年度に向けて

いつも関東地区主事会のためにお祈りいただき、心より感謝致します。各地で新型コロナウイルス感染症が再拡大しているなかで、みなさまも様々な影響を受けておられると思います。

多くの学生たちも、学校の授業もKGKの活動もオンライン化し、そのなかで忙しかったり、友達ができなかったり、交わりが深まらずに参加者が与えられなかったり、本当に苦しい1年間を過ごしていました。関東地区KGKでは一時期、対面での交わりも一部再開されましたが、実家に戻った学生がいるなかで、大規模イベントはオンライン開催が継続され、1月からは再び感染が拡大するなかで、ほとんどの集会在オンライン開催となりました。

1月からは新地区役員の奉仕が始まっています。現在は地区総会に向けて年間方針・計画を作成していますが、ミーティングはほとんどがオンライン。春休みにもたれる春期学校も、各学内・ブロック合宿もオンライン。残念さがありますが、それでも良き継承と派遣のときとなるように、主事会としても精一杯、学生たちとともに交わりを建て上げていきたいと思います。

4月からは、私塚本が全国卒業生会担当主事（関東地区卒業生会担当主事を兼任）に着任し、関東地区担当責任主事は吉澤慎也主事（副総主事・学生宣教局長）が再び兼任します。また、橋本一空GA（北海道地区）が関東地区担当主事に異動し、新たに桑島みくにさん、小林悠さん、富田詩織さんが関東地区担当主事として着任する予定です。先の見えない学生世界にあって、それでも関東地区主事会として、新年度に向けて、チームとして、関東地区におけるKGK運動を推進することができるように、引き続き覚えてお祈りください。

文責：塚本 良樹（責任主事）

- P.1 主事会報告
- P.2 各主事の近況報告
- P.4 祈禱課題

schedule

- 2/15 OpenSeminar
- 2/22-2/26 NET21
- 3/16-3/18 春期学校
- 3/22-3/24 主事会retreat

1月に今年度最後の神奈川IBAYブロック祈禱会がありました。ブロックの年間テーマは「本気(まじ) Wonderful (わ) relationship (り)」でした。今年度は全てオンライン開催でしたが、たしかに交わりが深まり、学生の励ましの場となったことを感じています。また、私はGAとして初めて学生に関わった1年でしたが、想像していた以上に、学生たちと本当に良い交わりが与えられています。神様を中心とした本気の交わりです。心から感謝します。



石川 麻美
神奈川IBAY



郷 崇治
小田急線

年末年始によく休むことができ、また、運動する習慣をなんとか取り戻し、健やかに過ごすことができています。12月末から数名の学生と平日に毎朝祈るDaily Prayer Meetingを行えていることが感謝です。他には主に個人的な交わりやブロック集会などを通して学生と関わっています。コロナ禍にあっても一人一人を愛し、繋がり続けるために、SNSをより意識的・計画的に用いて誘いやフォローアップの連絡を取ることを大切にしたいと思われています。

いつもお祈りいただき、ありがとうございます。二度目の緊急事態宣言が出されましたが、子どもたちは保育園に通っていて、私も通常通りに働けていること感謝です。今年度から女性主事・GAのメンタリングを担当しており、学生との関わりが減り、寂しさもありますが、ライフステージに合った形で働けていて、感謝です。ふさわしくサポートしていくことができるようにお祈りください。



中川 麻祐
副責任主事
神奈川IBAY



ケリー・チャン
中央線・山梨

クリスマスシーズン終えて、年末年始は自宅でゆっくりと過ごすことができました。一年間の歩みを振り返りながら、コロナ禍においても、数えきれないほどの恵が与えられていたことに気付かされ、感謝しました。休み明けは身体が少し鈍ってしまいましたが、良い生活リズムに戻れるように頑張っています。神様が希望であると信頼しつつ、2021年も歩んでいきたいです。

関東地区責任主事としての業務を順次引き継ぎつつ(4月までは加入問題委員会・22同期会担当)、全国卒業生会担当としての業務の引き継ぎを受けつつ、不定期で御茶ノ水の事務所に出勤しています。在宅での働きが多いので、妻とゆっくりしたり、睡眠時間が多く取れたりすることは感謝ですが、それでも最近は疲れが取れにくくなったように感じます。これからさらに責任が上がっていく中で、健やかなリズムで働き続けていくことができるように、覚えてお祈りください。



塚本 良樹
責任主事・渋谷



島田 祐也
お茶の水・国際

オンライン生活が始まってもうすぐ1年間が経ちました。最初のコロナの危機感からオンラインの可能性に対するワクワク感へ、最近は長く続くオンラインの働きから来る深い疲労感へと変わってきています。オンラインだからこそ、参加できるスイスやブラジルの留学生がいます。オンラインだからこそ出会えた未信者の留学生がいます。一方で、画面の前に座るのに嫌気がさしている自分もいます。主の恵みにすがって待ち望みたいです。

家族でボードゲームをするのが夢です。息子もそろそろ4歳になるので、簡単なゲームを買いました。おもちゃのワニが口を開けており、歯を一本一本押して、噛まれたら負けのやつです(伝わってるかな...?)。いざみんなでやろうとしたのですが、最初にこうやるんだよと見せたら...「ぎゃー、指がなくなっちゃう」と恐怖を感じる息子。大丈夫だよと何度見せてもやりません。結局、歯を押すのは僕ひとり。噛まれた僕を見て、大笑いする息子なのでした。



城間 創
神奈川IBAY・群馬・信州

主事・GAの近況報告



皆さんのお祈りに支えられ、2020年度の歩みが守られたことを心から感謝します。私事です、現在お腹に新しい命が与えられ、来年度から産休・育休に入らせていただくことになりました。これまで担当してきた多摩や小田急線ブロック、広報委員会や夏期学校を新主事に引き継ぐこととなりますが、ふさわしく交代できるようお祈りいただくと嬉しいです。今年度は最後まで学生たちと直接会うことができず残念な気持ちはありますが、与えられた恵を数えながら、また再会できる希望を持ちながら、新しい年度に踏み出していきたいと思っています。2021年も、何卒よろしくお願いします。



塚本 寿子
小田急線・多摩



小林 祐
渋谷・中央線

年末年始は少しゆっくりとした時間を過ごすことができました。未だに制限の多い生活が余儀なくされていますが、今与えられている環境の中で誠実に主の前に歩む者でありたいです。プライベートでは、3月末に行われる予定の陸上競技大会に向けてトレーニングをしています。もちろん、コロナ感染の状況によっては中止になってしまうかもしれませんが、決行となれば学生以来の復帰戦になります。怪我だけはしないように、頑張ります！

2020年度の千葉、茨城ブロックの役員はとても良い神様の働き手として、奉仕を担ってくれました。私自身もブロック役員会、ブロック祈祷会、学内聖研などの交わりにとっても支えられました。来年度もまた、聖書を読み、伝道し、祈り合う交わりのなかで、御言葉を第一にしながら彼らと共に歩んでいきたいです。ぜひ、2021年度も学内やブロックの活動がスムーズにスタートできるようお祈りください。



ネイサン・クラブハム
ちば・茨城・お茶の水



山形 宣洋
副責任主事
池袋・伊勢崎線・栃木

「人生史上、一番なのではないか？」と思うほど、健康的な生活を送っています。睡眠時間は8時間、食物繊維とタンパク質がたっぷりの食事、適度な運動。このおかげで日中に眠くなることは皆無となり、高い集中力をもって必要なことに取り組んでいます。ふと思立って始めたこの生活ですが、この生活にして気づかされたのは、「自分は睡眠不足だった」、ということです。きっと卒業生の皆さんも、睡眠不足なんじゃないでしょうか(決めつけてごめんなさい)。

12月に急遽オーストラリアへの一時帰国が可能になり、夏のシドニーでクリスマスを家族とともに祝うことができ、心から感謝しています。いつもKGKのために祈ってくださっている教会、友達との分かち合いにも感謝です。遠くからでもKGKの学生とzoomで繋がり、クリスマスメッセージもできました。でも、新年早々、帯状疱疹とその後の神経痛に悩まされています。2月には東京に戻りたいと願っています。どうぞ覚えてお祈りください。



デットレフス紀子
お茶の水・渋谷

全国責任主事会



メルマガで宣教報告を
毎月受け取りませんか？
ご登録は下のQRコードから
どうぞ！



遣わされた地で福音に生きる



お祈りください

ブロックの働きために

池袋

(山形)

2-3月は、ブロック役員引き継ぎや学内の引き継ぎが行われます。事務的な引き継ぎはもちろんですが、神様が与えてくださった「恵み」や「気づき」も分かち合いつつ、豊かな引き継ぎの時となるように。

伊勢崎

(山形)

3/27(土)に卒業生を送り出すキックアウト集会を開催します。多くの困難があった一年でしたが、KGKを通して与えられた神様からの「恵み」を思い起こし、彼らが卒業後も、卒業生会の交わりに繋がっていくように。

茨城

(ネイサン)

各学内、ブロックの役員が立てられ、引き継ぎが守られるように。茨城大に新メンバーが与えられ、学内グループ活動が再開されるように。

お茶の水

(島田)

1年間オンラインでの活動が終わりました。オンラインが続きます。オンラインしか経験していない役員から次の役員へ良い形で、目的意識や方向性、心構えや姿勢などが引き継がれますように。

小田急線

(塚本寿)

2021年度から、ブロック担当責任主事が塚本から新主事の桑島へ引き継がれることになりました。新体制となりますが、郷GAや協力者の方々とのチームワークが祝され、一層学生たち一人一人に届いていくことができるように。

神奈川BAY

(城間)

役員引き継ぎが行われます。ブロック担当責任主事の引き継ぎも行われます。引き継ぎの上に主の守りがあり、新しい年度も主に期待して活動していくことができるように。

群馬

(城間)

2年間担当した城間から、新主事の富田へ担当主事が変わります。2021年度も変わらない主の守りがあり、群馬における宣教の働きが前進していくように。

渋谷

(小林)

役員引き継ぎのために。来年度は神奈川BAYブロックとの協力関係が強められ、体制が変わる部分もあります。新旧役員間で、変わらないところは継承し、変えるべきところは柔軟に考えていけるように。

信州

(城間)

3年間担当した城間から、北海道地区から関東地区に赴任する橋本へ担当主事が変わります。良い形で引き継ぎがなされ、信州の学生たちを励まし、サポートしていけるように。

多摩

(塚本寿)

2021年度は、多摩と小田急線が合同で活動をしていくことになりました。また、担当主事が塚本から新主事の橋本へ引き継がれます。変化の多い一年間となりますが、多摩の持ち味が生かされ、慕う一人一人が祝されるように。

ちば

(ネイサン)

コロナ禍の中で、懸命に奉仕を担ってくれたブロック役員、学生たちに感謝します。導かれた新入生たちが、来年度も築うことができるように。

中央線

(ケリー)

春の遊び企画は対面で実施する方向で準備しています。また、新旧ブロック役員引き継ぎも進んでいます。準備委員も新旧役員も交わりの中で良き信仰の訓練を経験し、折り合う、励まし合う関係となるように。

栃木

(山形)

1月に宇都宮大学で霊言研究会が行われました。小さくても継続的な交わりが深められていき、ブロックとしての活動も再開することができるように。KGKを通して主に仕えたいと願うKGK会員が起こされていくように。

山梨

(ケリー)

メンバー一人一人の信仰が成長しつつ、折り合う、励まし合う関係になりますように。神様の祝福と恵みによって伝道の心を燃えさせられるように。

全国の働きのために

総主事 (矢島)

小川主事が3月で退職され、4月から新主事・GAたちが加わります。コロナ禍にあって主事会・KGKが進むべき道が一步一步示されますように。

事務局 (油木)

矢島総主事、油木事務局長、塚本、高木、刈込の働きと霊性のために。小川退職指定献金が満たされ、最後までその働きが全うできるように。4月入会の新主事を迎える備えが十分にできるように。

学生宣教局 (吉澤)

2/22-26にオンラインで開催されたNET(全国学生訓練会)21に全国から参加した学生たちが、福音を本当に理解し、宣教の備えに燃え、遣わされた地で福音に生きる姿勢を持ち続けることができるように。

国際 (鎌田)

OCF月例会・バイブルスタディがオンラインで続いて感謝。より多くの留学生を歓迎し、救いと成長のために仕えられるように。留学生が日本の教会やKGKの交わりに加わることができるように。

卒業生会 (小川)

全国卒業生会は、小川真主事が3月で退職し、4月から塚本良樹主事が卒業生専任主事となります。引き継ぎのために。卒業生たちが励まされ、遣わされた地で福音に生きるように。